

## 第 10 回尼崎市公共施設マネジメント市民会議（第 2 期）に係る議事録

日 時：平成 29 年 4 月 10 日（月）15 時 00 分～16 時 35 分

場 所：議会棟第 2 委員会室

出席者：市民委員 別紙のとおり

事務局 来馬資産経営部長、松田課長、義井課長、片野係長、  
武田係長、今熊技師

傍聴者：なし

次 第：「第 10 回 尼崎市公共施設マネジメント市民会議（第 2 期） 次第」のとおり

- 1 議題「施設評価（2 次評価）（素案）及び第 1 次尼崎市公共施設マネジメント計画（方針 1：圧縮と再編の取組）（素案）について」④

【議事（質疑）】 議題「施設評価（2 次評価）（素案）及び第 1 次尼崎市公共施設マネジメント計画（方針 1：圧縮と再編の取組）（素案）について」④

司会：それでは、議事の進行に入る。本日の議題は、「第 1 次尼崎市公共施設マネジメントファシマネ計画（方針 1）（素案）について」の議論となり、今回が本市民会議の最終回となる。

それでは、事務局から説明をお願いしたい。

<第 1 次尼崎市公共施設マネジメントファシマネ計画（方針 1）（素案）の説明>

委員：健康の家など廃止している施設があるが、平成 29 年度からのこの計画に含まれているのは矛盾するがどうか。

事務局：あくまで昨年 12 月時点での形である。また、減らす面積の基準日は平成 24 年度末であり、どこを起点にするかは微妙であるが、一定整理している。実際の建物譲渡は平成 29 年度となるため、このような表記としている。

委員：その他の増える部分である聖トマス大学はいつ決まったのか。また、建物だけなのか、土地も市のものなのか。

事務局：素案の形で整備の方向を示したのが平成 27 年 11 月となっている。現在では市の持ち物になっており、除却する施設を除いた 9,168 m<sup>2</sup>を活用面積としている。建物も土地も市の持ち物である。

委員：保育所を減らすことは決まっているのか。9 か所は少ないと感じているがどうか。

事務局：現在公立保育所として運営しているもので民間移管を予定している保育所は決まっており、それらは民間が運営するため市の施設からは削減するという形になっている。少し古い資料になるが、公立保育所が 25 か所あった時には民間保育所が 58 か所あり、50 km<sup>2</sup>のなかに 80 を超える保育所があるということで保育施策としては充実している。民間移管の手法を使って市の財政負担を減らしながら保育サービスを維持しようとして

いる。

**委員**：保育所の民間移管でも今年から貸付料の負担があり応募するところがなくならないか。また、予防保全（長寿命化）のことも指定管理者の修繕の負担がある現状などで、予防保全が進まなくならないうようにしてもらいたい。他市では応募がなかった事例もあり、この計画が進まなくなるのでは。

**事務局**：貸付料の見直しについては、財政的に非常に厳しいなか、経過措置なども活用しながらではあるが、公平性・公益性を保ちながら有償化について協議を進めていきたいと考えている。

また、予防保全（長寿命化）については、施設評価の結果を踏まえて優先順位をつけた後に、予防保全に係る計画を別途策定する。

**委員**：予防保全に関して、現状の建物の長期の修繕計画はないのか。

**事務局**：例えば市営住宅の長期修繕計画や学校施設の耐震化計画などを作成しているが、一般施設は小規模施設もあり、実態として壊れてから直すという事後保全の対応になっている。予防保全については、施設評価の結果を踏まえコストも含めて効果があるものを見極めながら取組を進めていきたいと考えている。

**委員**：尼崎城の維持費はいくらかかるのか。入館料はとるのか。

**事務局**：年間5千万円くらいのランニングコストがかかると想定している。入館料もとっていくが、魅力ある建物を建てて、できる限り収入で賄っていこうと考えている。

**委員**：障害者や高齢者の施設の移転については、入所者・利用者が移動しやすいところに置いてほしい。いいところに置いてほしいと思った。

**委員**：本庁舎が古くなっているが本庁舎の計画は。市民のシンボルであるので考えてほしい。

**事務局**：計画素案の8ページに本庁舎をあげている。本庁舎は建物が大きく分けて4つあり、中館は耐震補強が終わっており、北館は新耐震基準で、残る南館と議会棟の耐震工事を現在実施している。また、今後将来的な建替えのために、センタープールの収益金を基金に積み立てて財源的には確保していこうと考えている。

**委員**：北図書館もいいところに建っている。勤労婦人センターでの建替えを検討しているのかもしれないが、ちょっと狭いため現地建替えしてほしい。聖トマスの図書館機能の追加で3か所となり、今後尼崎の売りになると思った。

**事務局**：移転先はもう少し南側にある休日夜間急病診療所が候補になると考えている。いずれにしても、現在地の周辺で市民アンケートの意見にもあった不足している駐車場の整備も含めて検討していきたい。

**委員**：人口が少なくなり建物も古くなるなか、このような計画をつくっていろいろ考えていることがわかってとても勉強になった。半世紀ぐらい尼崎で暮らしてきたが、新施設をいくつも建ててきた昔のように、まさに元気が出たと思えるような積極的な新施設の計画もあわせて考えていただき、100年150年先に向けじいちゃんやばあちゃんになっても安心して暮らせていけるようなまちであってほしいなと思った。

**委員**：園田分署は移転しないほうがいいと考えている。橋を渡るのに交通量等があり時間がかかると思う。

**事務局**：園田分署は平常時の救急救命の対応や緊急災害時に必要なホール機能の面から東

園田地区内に整備する方向で考えている。また、消防署機能に加え、地域でも使用できる少し大きな300人規模のホール機能も持たせることを地域で説明しているが、意見が多くあり陳情も出ていることから今後も検討が必要と考えている。東高校跡地には支所と地区会館を複合した施設を整備しようとしている。

**委員：**議会の対応は。議員にも汗をかいてほしいと考えている。

**事務局：**昨年12月に会派に説明している状況については、賛成・反対など意見は様々であるが、市民の意見を聞いて進めていかなければいけないということを説明しており、そうしたご理解いただける活動なり行動なりをとって、この計画を前に進めていきたいと考えている。

**委員：**プールも北と中央と南にほしい。元浜緑地のような水遊び場も人気があり、若いお母さんからそのような機能のプールがほしいという意見があった。

**委員：**先日宝塚の逆瀬台に行った時に立派な公民館があった。しかし、駐車場もなくまわりにコンビニもない。坂道も多く施設があっても活用されていないように思われる。70歳ぐらいの心臓病を患っている淡路島の方が尼崎へ引っ越してきた理由も救急体制や病院の多さを挙げていた。宝塚に比べて尼崎は自転車でも行き来でき、施設の密度が高く、多少施設を減らしたとしても住みよいまちだと考えている。私も20年住んでいるが、そこまで尼崎が治安の悪いまちではないと感じている。市役所の皆さんが率先して尼崎の良さを売ってもらいたい。計画はよく考えていただいていると思うので、余分な付度は避けて前向きに進めていただきたい。

**委員：**大阪の南のほうの方からも尼崎は坂道もなく平坦で自転車も使いやすく、働く人にとっても大阪にも神戸にも通いやすく、交通の便が良いと結構知られている。

**委員：**他のところからみたら悪いイメージが強かった。芦屋、宝塚、西宮のほうが有名だと思う。マスコミもうまく利用してPRをしたほうが良いと思う。マスコミの利用の仕方というか、尼崎市は4大新聞が置いている場所がないでしょう。関東からは知られていないが45万都市であり、中核市であるためマスコミも利用してほしい。

**事務局：**中館の2階に記者クラブがある。また、今の市長になってシティプロモーション推進部も設置し、市報を作る部門とシティプロモーションということでPRする部門をつくっており、今年度から新たにPRする部門を2つに分けて体制の強化を図っているところである。今、ご指摘いただいた点については、各部署にも伝えてさらにいいイメージができるような手法がないかと考えて順次進めていきたい。

**委員：**工業高校なども高専レベルぐらいの力をつけて、将来を担うような人材育成も含めて、中小企業のまちとしても学生達を育てるようにしてほしい。

**事務局：**工業高校については、県立の高校とかつての尼崎産業高校があり、産業高校については東高校と統合して尼崎双星高校となっている。各高校も特色を持った講座などもしているが、人材育成の面から産業支援機関での体験講座など、ものづくりに興味をもってもらうような取組を行っている。また、人材確保の面からも、たくさんの中小企業の方々と合同で就職説明会を開くなど努めている。ご指摘の点も含めて人材不足にならないよう市としても支援して進めていきたいと考えている。

**委員：**このマネジメント計画はすばらしい資料であるが、資料で終わらないようにしてほしい。またタイムスケジュールも示してほしいと思った。

**委員：**資料も市民説明会もよく考えられていると思った。特に市民説明会に参加した時にも感じたが、上からこうではなく、こうしていきたいということを説明するなど、市民の声を丁寧に聞こうとする姿勢を感じて好意的であった。私としては、この計画を進めていく方向でいいと思う。賛成の人が声を挙げないと。反対の人のほうが声をあげることで声を挙げたほうが強いという考え方になると先に進まないと思う。民間とか代替とか複合とかいろいろ考えてるので、今後も自信を持って進めてもらいたい。

**事務局：**全10回にわたる本市民会議における委員の方々の意見はもちろんのこと、市民説明会でも多数の意見があり、パブリックコメントでは約600件程度の意見がありましたので、それを踏まえてこれから具体的な方法を考えていくことになっている。また、先ほど委員から市民の声を聞く姿勢があるとたいへんありがたい言葉もありましたので、今後もその思いは変えることなく、改めて内容をお示ししていくなかで、これからも市民や関係団体などの皆様から意見をいただきながら進めていきたい。今後、具体的な案をお示した時などに、委員の皆様にも相談や意見をいただく場合など、これからも関係を深めていきたいと考えている。

<あいさつ>

**局長：**資産統括局長の塚本でございます。

第2期尼崎市公共施設マネジメント市民会議の最終回ということで、一言御礼を申し上げます。京田委員をはじめ委員の皆様方には1年を超えるという長い期間ご議論・ご協力いただき、本当にありがとうございました。これまでも説明はさせていただいておりますけれども、今ある施設をすべて維持して更新していくことは財政的に事実上不可能な状況ということになっております。そうした中、老朽化した公共施設をどのように扱っていくかということは、本市の喫緊の課題であります。これらの課題については、先送りすることなく、将来の世代に過度な負担も強いることのないよう、早期に削減目標を達成するとか、そうした取組で公共施設の量・質・運営コストの最適化を図っていく実現していく必要がありますが、一方では公共施設の見直しに伴って、ご利用いただいている市民の皆様方のサービスの低下に繋がるということは極力避けていかなければならないと思っております。そのためにも、我々といたしましては、本市のこうした状況について、ご理解していただいた上で、市民・利用者の皆様方の意見をしっかりと聞いていかなければならないと思っております。こうした中、第2期尼崎市公共施設マネジメント市民会議は、昨年3月30日から第1回の会議がスタートしております。本日まで合計10回の会議で、非常に熱心に活発な議論がなされ、また、対象となっている施設の現地視察なども行っていただきまして、今後、見直しなどを進めていく上で、留意すべきことや、新たな発想につながるようなご意見も多数頂いております。今後は、いただいた意見などを踏まえまして、修正すべき点は修正して、市民の皆様にご理解いただけるよう、より具体的な対応策について、検討を継続してまいりますので、今後とも本市の市政運営にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。これまでの本市民会議へのご参加、ご協力まことにありがとうございました。

委員：1期と2期と両方委員をしていたが、事務局には私達市民の意見を聞く場を作ってもらってありがとうございました。話をさせてもらって知らなかったこともあり、すごくいい勉強になりました。普段見ているまちを違う目で見るということができるようになりました。隣の西宮市は人口が増えているが、西宮市に負けない形で利便性とか住みやすいまち尼崎市を出して行って、人口が増えれば税収も増えますので、また箱モノも建てられるかもしれないということもあると思います。これは、行政だけでなく私達市民も一緒に力をあわせていい市にしていくということで繋がって行って、もっともっと便利なものが新しいものをつくっていけるとと思いますので、今後ともよろしく願います。各委員の方々も長い期間ありがとうございました。

以 上